



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
東

上場会社名 スーパーバッグ株式会社

上場取引所

コード番号 3945

URL <https://www.superbag.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樋口 肇

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 鈴木 崇之

(TEL) 04-2938-1244

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,675	0.1	41	△72.3	72	△61.7	88	△28.3
2026年3月期第1四半期	6,668	2.4	150	△6.8	189	1.7	123	3.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 182百万円(31.8%) 2026年3月期第1四半期 138百万円(△34.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	59.79	—
2026年3月期第1四半期	83.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	14,015	5,578	39.7
2026年3月期	13,761	5,559	40.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 5,566百万円 2026年3月期 5,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	110.00	110.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	29,000	3.0	920	21.3	980	18.3	710	△11.3
								円 銭
								478.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	1,686,154株	2026年3月期	1,686,154株
2027年3月期1Q	201,005株	2026年3月期	201,005株
2027年3月期1Q	1,485,149株	2026年3月期1Q	1,483,129株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、継続的な物価上昇による個人消費への影響や、金利や為替の動向、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー供給不足や原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、EC市場の継続した拡大と環境意識の定着から、紙製宅配資材の需要は底堅く推移した半面、原材料価格・物流コストの高騰は依然として継続しており、厳しい事業環境が続いています。

このような環境のもと、当社グループは2024年5月10日に第2次中期経営計画『環境と共に歩む次世代パッケージ企業～創業120年の誇りを胸に～』を公表いたしました。『成長戦略の追求と環境経営基盤の構築』を基本方針とし、「紙製品事業への注力」、「新規事業開拓」、「環境偏差値向上」、「人的資本・ガバナンス強化」、「経営基盤戦略」に注力し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、紙袋の有料化拡大による手提袋の出荷鈍化や原材料の高騰など厳しい環境が続いておりますが、生産拠点への新型機の導入、基幹システムへの投資などコスト削減と効率的な業務運営の実現に向けた施策を実行してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,675百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益41百万円（前年同期比72.3%減）、経常利益72百万円（前年同期比61.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益88百万円（前年同期比28.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用197百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、重点ターゲット市場への拡販により宅配袋の出荷は好調に推移したものの、紙袋有料化の影響で手提袋の販売数量が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ171百万円減少して3,407百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、インフレに対応した価格改定を実施してまいりましたが、コスト上昇が先行したことにより粗利率が低下したことに加えて、償却負担が増加したことにより、前年同期に比べ101百万円減少して154百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、飲食店をはじめとするテイクアウト用ポリ袋の受注が好調であったことから、売上高は前年同期に比べ156百万円増加して1,524百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、中東情勢の影響により原材料価格が上昇した一方、迅速な価格転嫁を行った結果、前年同期に比べ9百万円増加して33百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ21百万円増加して1,743百万円となりました。品目ごとの販売構成では、事務用品、販売用品の販売が増加しております。セグメント利益（営業利益）は、前年同期に比べ0百万円増加して51百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ254百万円増加して14,015百万円となりました。流動資産は、電子記録債権が159百万円増加、棚卸資産が493百万円増加した一方、現金及び預金が646百万円減少、売掛金が115百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ43百万円減少の8,858百万円となりました。固定資産は、減価償却費で80百万円減少、投資有価証券の売却で34百万円減少した一方、設備投資等により309百万円増加、投資有価証券の時価評価額が148百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ297百万円増加の5,157百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ234百万円増加して8,437百万円となりました。これは、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が360百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が174百万円増加、短期借入金及び長期借入金が151百万円増加、賞与引当金が113百万円増加、未払金及び設備関係未払金が108百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加して5,578百万円となりました。これは、剰余金の配当で163百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により88百万円増加、その他有価証券評価差額金が101百万円増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の40.3%から39.7%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,619	972
受取手形	29	13
売掛金	3,745	3,629
電子記録債権	517	676
商品及び製品	2,323	2,805
仕掛品	250	242
原材料及び貯蔵品	268	288
その他	167	246
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	8,901	8,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,019	4,023
減価償却累計額	△3,397	△3,387
建物及び構築物（純額）	621	636
機械装置及び運搬具	7,163	7,288
減価償却累計額	△6,256	△6,226
機械装置及び運搬具（純額）	907	1,061
土地	644	644
リース資産	352	345
減価償却累計額	△226	△228
リース資産（純額）	126	116
建設仮勘定	33	80
その他	371	374
減価償却累計額	△348	△351
その他（純額）	22	23
有形固定資産合計	2,356	2,563
無形固定資産		
ソフトウェア	53	49
その他	149	177
無形固定資産合計	202	226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,395	1,463
差入保証金	242	244
退職給付に係る資産	598	596
繰延税金資産	45	48
その他	19	16
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,300	2,367
固定資産合計	4,859	5,157
資産合計	13,761	14,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,150	2,325
電子記録債務	1,740	1,385
短期借入金	984	1,334
リース債務	51	51
未払金	436	587
未払法人税等	38	89
未払消費税等	15	19
契約負債	25	0
賞与引当金	221	335
設備関係電子記録債務	32	26
設備関係未払金	52	9
その他	135	138
流動負債合計	5,884	6,302
固定負債		
長期借入金	1,421	1,223
リース債務	155	142
繰延税金負債	96	110
役員退職慰労引当金	39	8
退職給付に係る負債	603	618
その他	—	31
固定負債合計	2,317	2,134
負債合計	8,202	8,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,244	1,244
利益剰余金	2,629	2,554
自己株式	△370	△370
株主資本合計	4,878	4,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417	518
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	79	77
退職給付に係る調整累計額	169	165
その他の包括利益累計額合計	668	763
非支配株主持分	12	12
純資産合計	5,559	5,578
負債純資産合計	13,761	14,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,668	6,675
売上原価	5,360	5,418
売上総利益	1,308	1,256
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	568	593
給料及び手当	318	333
賞与引当金繰入額	64	58
退職給付費用	13	11
賃借料	35	46
旅費及び交通費	18	22
その他の経費	138	148
販売費及び一般管理費合計	1,158	1,215
営業利益	150	41
営業外収益		
受取配当金	23	23
持分法による投資利益	16	19
為替差益	5	—
受取賃貸料	1	1
その他	7	3
営業外収益合計	55	48
営業外費用		
支払利息	15	14
為替差損	—	1
その他	1	0
営業外費用合計	16	17
経常利益	189	72
特別利益		
投資有価証券売却益	7	65
特別利益合計	7	65
特別損失		
固定資産除却損	0	2
子会社清算損	13	—
特別損失合計	13	2
税金等調整前四半期純利益	183	136
法人税、住民税及び事業税	90	82
法人税等調整額	△30	△34
法人税等合計	59	47
四半期純利益	123	88
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	123	88

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	123	88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	101
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	7	2
退職給付に係る調整額	0	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△4
その他の包括利益合計	14	94
四半期包括利益	138	182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137	182
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	2,906	—	—	2,906	—	2,906
紙器	456	—	—	456	—	456
その他紙製品	215	—	—	215	—	215
ポリ袋	—	1,181	—	1,181	—	1,181
その他化成品	—	187	—	187	—	187
その他商品	—	—	1,721	1,721	—	1,721
顧客との契約から生じる 収益	3,578	1,368	1,721	6,668	—	6,668
外部顧客への売上高	3,578	1,368	1,721	6,668	—	6,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,578	1,368	1,721	6,668	—	6,668
セグメント利益	256	24	50	330	△180	150

(注) 1. セグメント利益の調整額△180百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	2,791	—	—	2,791	—	2,791
紙器	390	—	—	390	—	390
その他紙製品	224	—	—	224	—	224
ポリ袋	—	1,280	—	1,280	—	1,280
その他化成品	—	244	—	244	—	244
その他商品	—	—	1,743	1,743	—	1,743
顧客との契約から生じる 収益	3,407	1,524	1,743	6,675	—	6,675
外部顧客への売上高	3,407	1,524	1,743	6,675	—	6,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,407	1,524	1,743	6,675	—	6,675
セグメント利益	154	33	51	239	△197	41

(注) 1. セグメント利益の調整額△197百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	64百万円	80百万円